

✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2023年12月1日 Verkehrs Rundschau

■ トラック通行料金の新制度が施行 — その効果と運送業界への影響

Lkw-Maut Reform tritt in Kraft - Was das bedeutet bmJV

ドイツの高速道路および連邦道路では、2023年12月1日、トラック通行料金の大幅な引き上げが実施された。新料金制度では、EU指令の方針に沿う形でCO₂排出量が課金項目として加えられた。さらに2024年7月からは3.5トン以上のトラックも通行料徴収の対象となる（現在は7.5トン以上）。これにより、新たに通行料徴収対象となる車両は30万台に上ると推定され、連邦政府は2023年度の通行料収入80億ユーロ弱から2024年度は150億ユーロ強への増収を、さらに2024年～2027年に計3,050億ユーロの増収を見込んでいる。運送業界はかねてから大幅な通行料引き上げに反発しており、顧客への価格転嫁は避けられないとしている。

スペイン 2023年12月5日 Cinco Días

■ アベルティス社、UBS基金から高速道路A12を購入

Abertis compra a un fondo de UBS la Autovía del Camino

高速道路A12はナバーラとエル・アルト・バーリエ、デル・エプロを結ぶ道路で、アベルティス社とナバーラ地方政府との契約は2030年に終了となる。パンプローナとログローニャとの間に位置する影響力が強い地域を構成している。この資産取得はアベルティス社にとって新たな成長段階を確立するものとなる。去る7月、会社の発展のための新合意がACS社とMundys（旧アトランティア社）の間に締結されたのがきっかけとなる。これによりアベルティス社は、アメリカとプエルトリコで新たな高速道路を取得できるようになる。

フランス 2023年12月6日 APRR

■ 自動運転車の開発：APRRとヴァレオの6年にわたる協力関係

Développement de véhicules autonomes : 6 ans de partenariat entre APRR et Valéo

2017年以来、高速道路運営会社のAPRRと自動車部品製造会社のヴァレオは共同で自動運転車の開発を行ってきた。11月中旬、両社は高速道路A6にあるフローリ・アン・ビエール料金所における遮断装置で、新たに自動運転車を試験した。ヴァレオが開発したCruise 4Uタイプの自動運転車は未来志向型の外見とは違い、さながらフォルクスワーゲンの電気自動車のようなものである。内部に制御スクリーンを備える一方、外部には多くの情報収集装置を備えているのが特徴のコネクテッドカーである。

米国 2023年12月12日 Roads & Bridges

■ 州知事幹線道路安全協会の報告書が交通安全カメラのメリットを提示

Governor's Highway Safety Administration Report Shows Benefits of Traffic Safety Cameras

州知事幹線道路安全協会の新たな報告書で、死亡事故防止に関し交通安全カメラのメリットが調査され、技術実装に関し各州に提言がなされている。報告書「新時代の自動取り締まり」では、スピード違反、信号無視、スクールバスストップアーム違反を検知する交通安全カメラのメリットが説明されている。また下記を含む自動取り締まりプログラムをより効果的に実装すべく重要な障害を特定し克服するため、州や交通安全事業者にいくつかの提言がなされている。安全への注力、適切な場所選定、住民参加および関与、公平性、透明性とアクセスしやすさ、互惠協約が挙げられている。

フランス 2023年12月12日 ATMB

■ モンブラン・トンネル、通行再開日時は2023年12月15日(金)午後4時に前倒し

Tunnel du Mont Blanc : La réouverture au trafic est avancée à vendredi 15 décembre 2023, à 16h00

フランス モンブラン・トンネルが、TMB-GEIE とその下請け会社の従業員を動員し、当初予定されていた開通日の12月18日より3日早めて、12月15日に通行可能となった。技術メンテナンスのための工事現場は、9週間の集中共同作業を終えて完成段階にあった。200名以上の従業員と50社以上の動員企業が工事に携わり、投資費用は2,000万ユーロにのぼる。安全体制がすべて整う12月15日(金)午後4時より通行可能となる。

米国 2023年12月14日 World Highways

■ エレクトレオン社が米国初の動的充電を完成

Electreon completes first US dynamic charging

エレクトレオン社は、デトロイトの自社のワイヤレス電気自動車充電道路(このような公共「ステーション」は米国で初)がテストベッドとして完成したと報告している。この技術により、舗道に埋められた充電器を使用し運転中に電気自動車を充電することが可能となる。同社のワイヤレス充電技術は、路面下に設置された銅コイルと電気自動車に設置されたレシーバー間の誘導結合に基づくものである。道路内のコイルがその上を認可レシーバー搭載車両が通過したときのみ作動するため、この電気道路はドライバー、歩行者、野生生物にとって安全である。

英国 2023年12月14日 New Civil Engineer

■ rFpro が大手 OEM のため東名高速道路のデジタルツインを作成

rFpro creates digital twin of Tōmei Expressway for major OEM

英国のソフトウェア専門企業 rFpro は、日本の東名高速道路のデジタルレプリカを開発するよう大手 OEM に依頼されている。この仮想モデルは主にパワートレインキャリブレーションに使用されるが、運転しやすさ、効率性、乗用車等の国際調和排出ガス・燃費試験法の評価の向上や高速開発の促進に焦点を当てている。この評価にはさまざまな運転スタイルやルートタイプ、異なる気象および交通条件の評価が含まれる。シミュレーションにより効率的な試験方法が提供され、車両やパワートレインがまだモデルベースの段階で開発の開始が可能となる。

スペイン 2023年12月14日 EL PAÍS

■ 高速道路の通行料金、2024年には4%引き上げられる予定

Los peajes de las autopistas subirán hasta un 4% en 2024

有料高速道路の通行料金が2024年1月1日から4.03%引き上げられる。これは消費者物価指数に連動した支払額の年間自動見直しに基づくものである。しかし最終的な決定権は交通担当大臣にあり、2023年の収入実績についても本来であれば8.4%の通行価格上昇が見込まれたが、実際には利用者への便宜を考慮して4%の引き上げに留め置かれたのである。消費者物価指数については、その年の平均値が考慮され通行料金の引き上げに反映されている。

英国 2023年12月18日 New Civil Engineer

■ 120年を超え戦略道路網で運用されている86の構造物

86 structures in operation on Strategic Road Network over 120 years old

ニュー・シビル・エンジニアは、英国の戦略道路網で National Highways が現在使用している86の構造物が120年の近代的設計寿命基準を過ぎていることを明らかにできる。これらの構造物は1970年代に導入された近代的基

準で定義されている橋やトンネルの設計寿命を表す 120 年の設計寿命に対しまとめられている。リストの構造物はすべて、近代的構造物が従うべき多くの設計規範の前に建てられたものだが、National Highways はローリング・メンテナンス・プログラムによってこれらがまだ安全に使用できることを保証している。

英国 2023 年 12 月 18 日 Highways Magazine

■ 停止車両検出が目標を達成。ただし試験データの 85% が使用不能

Stopped vehicle detection hits target but 85% of testing data unusable

National Highways は道路モニターからの新たな報告によると、スマートモーターウェイの安全に関し大きな進展を見せたが、基礎となる試験データの強度については懸念が残っている。ソフトウェアの修正がこの進展の主な理由とされている一方で、改善は試験法の変更に従っており、ここで停止車両アラートの約 85% が「検証不能」として「グラウンドトゥールズ」プロセスから除外されているとみられる。結果的に鉄道道路局が National Highways に対し「検証不能なアラートに関する情報を収集し解析する」方法を見直すよう求めることとなった。

米国 2023 年 12 月 19 日 AP News

■ テネシー州がナッシュビル、チャタヌーガ、ノックスビル一帯の初の有料エクスプレスレーンを提案

Tennessee proposes 1 st express toll lanes around Nashville, Chattanooga, Knoxville

テネシー州の交通当局は、ナッシュビル、チャタヌーガ、ノックスビル一帯のハイウェイのいくつかに新たなオプションの有料レーンを加えることを提言した。テネシー州の交通局は、議員や新しい州の交通委員会に最初のプロジェクトがナッシュビル～マーフリーズバラのコリドーになるよう提言している。また同局は、州の定期道路資金源を構成することにもなる計 150 億ドルの 10 年計画を発表した。150 億ドルの 55 パーセントは建設プロジェクトに回され、45 パーセントは道路工事、橋修復やその他ニーズに支払われる。

米国 2023 年 12 月 20 日 WFMJ

■ オハイオターンパイクで新たな年に通行料率が上昇

The Ohio Turnpike is increasing toll rates for the new year

2024 年 1 月 1 日に交通量の多いハイウェイの通行料率が上がることになる。E-Z パス利用者の通行料率は、2023 年の 1 マイル当たり 0.061 ドルから 2024 年には 0.065 ドルとなる。セミトラックのような商用車両を運転する E-Z パス利用者に対しては、2024 年の通行料率は 1 マイル当たり 0.189 ドルから 0.204 ドルに上がる。連邦道路管理局は、ハイウェイ設計、建設、メンテナンスのコストが史上最高額であり、道路建設セクターのインフレが一般経済と比較して非常に高くなっていると述べている。

米国 2023 年 12 月 27 日 Roads & Bridges

■ ジェニングス・ランドルフ橋の恒久的修理のため設計が進行中

Design Underway for Permanent Repairs to the Jennings Randolph Bridge

12 月 11 日の閉鎖後、ウェスト・バージニア州チェスターとオハイオ州イースト・リバプールを結ぶジェニングス・ランドルフ橋に対し、ウェスト・バージニア州の交通局が再開へ向けた準備を行っている。連邦政府が義務付けている検査により、鋼製橋梁構造物の溶接部 2 カ所で亀裂が見つかり閉鎖へつながった。モジェスキー・アンド・マスターズ社は橋の溶接部でさらに 18 カ所の内部欠陥を特定した。同交通局は橋の修理を完了するため、トリトン・コンストラクション社を迎え入れたが、同社は現在作業を開始すべく資材や機器を集めているところである。

スペイン 2023年12月28日 Expansión

■ ACS社は、米国テキサスの高速道路をアベルティス社に移転することで、1億8,000万ユーロの収益を獲得した

ACS obtiene una plusvalía de 180 millones de euros con la transferencia a Abertis de una autopista en Texas

ACS社は、米国テキサス州の高速道路SH-288の運営権のうち56.8%をアベルティス社に移転する手続きを完了した。その費用は14億2,300万ユーロとなり、税金と移転にかかる費用を勘案して1億8,000万ユーロの収益を得たことになる。テキサス州はこの分野で米国市場の半分を占有していることから、フロレンティーノ・ペレス氏がCEOを務めるACS社は、2035年から急激な成長を遂げると予想されている。高速道路SH-288の利用車両は毎日16万台を超えているが、そのうち14,000台が新しい有料道路を利用するものと見られている。

米国 2023年12月29日 Traffic Technology Today

■ カプシュ・トラフィックコム社が900万ドル規模の大きな米国トンネル管理プロジェクトを獲得

Kapsch TrafficCom wins key \$ 9m US tunnel management project

カプシュ・トラフィックコム社は、バージニア州、チェサピーク湾の7億5,500万米ドル規模の平行・シングル・ショールトンネルに対するトンネル管理契約を獲得した。この契約は900万米ドルの価値がある。完成すると、新規トンネルは南行きの2車線を、既存トンネルは北行きの2車線を運用する。同社の技術により、監視制御・データ取得システム、電力制御システムや火災警報、発電機、閉回路テレビ、放水・消火ポンプ、その他重要なハードウェア、ソフトウェアといった安全機能で既存および新規トンネルの継続的な安全が保証される。

イタリア 2023年12月29日 Corriere della Sera

■ 高速道路と通行料金、2024年1月から2.3%の引き上げが決定される：閣僚評議会の法令に関する決定

Autostrade e pedaggi, aumenti del 2,3% da gennaio 2024 : la decisione nel decreto Milleproroghe

この1月から高速道路の利用につき通行料金が引き上げられる。道路運営会社において、新しい財政計画が提出されない中で、今回の通行料金の引き上げとなった。これは2024年に予想されるインフレ指数を反映した引き上げ率となっている。同じ計算方法で去る6月には1.34%、それより前の昨年1月には2%の引き上げが実施された。公害と大気汚染を抑止する目的でガソリンと、それに含まれるベンゼンを用いた車両を一定期間制限したことも今回の引き上げに関連している。

オーストリア 2023年12月31日 Münchner Merkur

■ オーストリアで新規導入のデジタル式高速道路1日通行券で得をするのは誰？

Autobahn-Maut : Digitale Tagesvignette 2024 in Österreich - wer sie künftig nutzen kann

オーストリアでは2024年初頭から新たに8.60ユーロのデジタル式高速道路1日通行券が発売された。同時に10日間有効の通行券（乗用車）が9.90ユーロから11.50ユーロに値上げとなる等、その他の各種通行券の価格も改訂された。新発売の1日通行券はドイツから1泊でオーストリアに出かけたり、オーストリアを通過してイタリアへ1週間の旅行に出かけたりする場合には複数枚の購入が必要となり、10日間通行券より高くなってしまう。1日通行券で得をするのは日帰り旅行の人で、従来は10日間通行券を買わなければならなかったところ、これからは1日通行券に8.60ユーロ払えばよい。